

山田学区

社協だより

第 53 号

発行
山田学区
社会福祉協議会



ごあいさつ

会長 中島 四郎

山田学区の皆様方には、日頃から学区社会福祉協議会の活動に多大のご理解とお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。

平成二〇年度も多くの皆様のご協力を得まして無事終わることが出来ましたことをこのころから喜んでおります。

さて、学区の地域福祉の土壌作りの一環として、山田公民館の共催で実施しております「福祉講座」がございます。今回は、草津市笠山七丁目の滋賀県立長寿社会福祉センター内にあります滋賀県立福祉用具センターに行って、「インスタレーション体験」を実施しました。

インスタレーションとは、高齢者に一時的かつバリエーションに変身することによって、高齢者の世界を体験できるプログラムです。

高齢者への変身は、手や足に「重り」を、関節には、関節が曲がりにくくなる「プロテクター」を付けるとともに、「耳栓」をして

聞こえにくくし、目には「ゴーグル」を付けて白内障の世界を作り出します。

こうした装備の上で、自動車の乗り降り、図書館で本を探す、階段の上り下りあるいは自販機でものを買ってみる、トイレへ行くあるいは施設内を歩き回るなど日常生活のさまざまな動きを体験します。

このようにして、高齢者の視点から社会を見ることになって、高齢者の身体的な衰えや心理的な変化を実感し、我々をとりまく社会の問題点を発見するとともに、高齢者に対してどのように接していくべきかを学びます。

山田学区社会福祉協議会では、このように地域福祉の向上にどう携わるかを自ら問いかけ、そのスキルアップにも努めてまいります。皆様がたもこのような講座に積極的に参加していただくとともに、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ふれあいサロン

今年もふれあいサロンを開催しました。例年どおり、東部地域、北部地域、南部地域での開催とし、2月には全体でロクハ荘まで足をのばしました。



各地域での開催では、市の歯科衛生士や保健師さんをお招きして、口の健康についての講義を受け、口の体操をして、くちびる、ほお、舌などの筋肉を鍛え、かむ力、飲み込む力をつけることが大切と学びました。すると、話すこと、笑

うこと、唾液が出やすくなる、これが健康増進に役立つということですよ。



「赤いリンゴにくちびるよせて・・・」と歌いながら、リンゴの皮むきをしました。リンゴの皮むきは、紙をリング状に丸く切ったものを、唄に合わせて細長く紙を手で切っていくんです。このとき切り取った皮がこまぎれにならないように注意します。歌うことと、手を動かすという違う動作を同時に進行すること

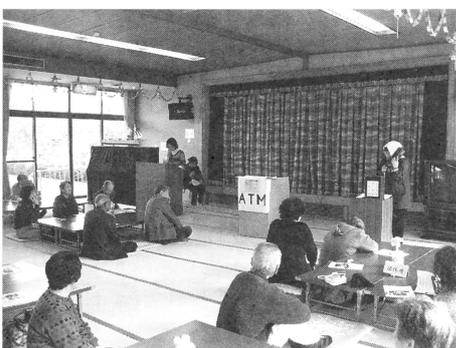


が健康維持に良い結果をもたらすということです。

また、午後からは、長寿ゲームをやりました。これもゲームの進行で頭をつかい、ビー玉をつまむことで指の細かい動きを必要とし、リンゴの皮むきと同じ効果があるということです。



ロクハ荘では、市の消費生活相談窓口の方にお願ひし、「振り込め詐欺にあわないために」ということで、振り込め詐欺の実際の手口を、朗読劇で説明をうけました。全くのだましの口先だけのテクニックを、よくもまあ考えつくものと感心しました。ほんとうにまあ、あざやかです。今後、新しい制度であります定額給付金についてもいろいろと、手の込んだ手法を言ってくることもあるかもしれませんので気をつけたいものです。



ところで、このふれあいサロンは、独り暮らしや高

齢者だけの世帯の方々が、ボランティアや福祉委員と、あるいは高齢者同士でのふれあいを通じ、孤立感の解消をはかり、地域とのふれあいの輪を広げていくことを目的としています。

このため、各町の福祉委員、ボランティアグループのみなさん、日赤奉仕団、健康推進員の皆さんの多大のご協力を得て開催しています。ほんとうにありがとうございます。



今後ますますふれあいの輪が広がるよう、「ひろがれやまだの和・環・話」をキャッチフレーズに進めていきます。

平成三十年度 社会福祉協議会 賛助会員紹介

本年も草津市社会福祉協議会賛助会員への募集を十二月に実施いたしました。山田学区では、五十一社(名)のご協力を頂きました。

この会費は草津市および山田学区内の社会福祉協議会が主催する各種の催し物に有効に使わせていただきます。

ここに、山田学区内でご協力いただきました会員の皆様に厚くお礼申しあげ、ご紹介させていただきます。

(敬称略・順不同)

- (有)久泉豊店
- (株)アヤシロ
- 杉江鉄工
- (株)ナカイテクノ
- (有)横江製作所
- (有)田渕鋳金
- 横江鋳金塗装(株)
- 相撲ちゃんこ 大岳
- (株)光真製作所

- (株)中島歯車工業所
- 藤田工務店(株)
- 平井酒店
- 福盛教材
- 浜口自転車店
- 北山田診療所
- あけぼの食堂
- 焼肉 夕鶴
- きよ香
- オートカム
- 居酒屋 きみちゃん
- お好み焼 田渕
- 中野製菓(株)
- 駒井工務店
- こまい酒店
- 園田瓦店
- 杉江酒店
- 広川電機(株)
- (株)久泉エンジニアリング
- (有)馬場自動車
- (有)馬場工務店
- 堀井歯科医院
- (株)テクノオーミ
- 膳所木材工業(株)
- 山一産業(株)
- 久保水道

- 西本電気工事(株)
- 久保産業(株)
- (有)馬場建設
- 髪結 愛
- 魚八給食(株)
- (有)久保電気
- 平井自動車工業(株)
- コーナン商事(株) 草津店
- ジョーシン 草津店

- (株)ハズイ食料品店
 - くにまつフードサービス
 - 川那辺整骨院
 - 佐山水道工業(株)
 - 中川商店
 - すずか亭
 - 京滋リネンサプライ(株)
- ありがとうございます。

福祉委員活動について

福祉委員会 山中秋夫

陽春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。

日頃は、福祉委員として敬老会、ふれあいサロン等においてご協力・ご尽力をいただきありがとうございます。この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

私たち福祉委員は、学区内及び各町内の高齢者の方々が、ご近所(近隣)仲間として人と人のつながりを大切に、豊かな老後を生き延びていただくための福祉活動

をさせていただいています。今年度も福祉委員として、高齢者等の方に何ができたのか?どんなことをしていきたいかなければならないのかを福祉委員研修会で滋賀短期大学の佐藤先生をお招きし学びました。また、福祉委員活動は「わが町はどんな町なのか、知ることから始まる」など貴重なお話を



を聞かせていただき、今後の活動に活かしていきたいと思えます。



しかし高齢者の方が安心して毎日を楽しく暮らし、生きがいを持つて過ごすためには私たち福祉委員だけで出来るものではありません。近所仲間、友達仲間の支援・サポートが必要不可欠だと思えます。

山田学区のあたたかい心の風土を活かし、自分が生きたい生きざまを相手と共に育んでいく活動を進めていくために、今後とも皆様のご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

山田学区 人権県外研修

大和太鼓「夢幻」をご存じですか。草津市内でも何回も演奏されておりました、お聞きなられたかたも多いと思います。その夢幻太鼓のふるさとへ研修に行きました。大阪市東淀川区の矢田地区です。

山田学区同和教育推進協議会メンバー62名が同地区を訪問したのは去年の12月4日でした。矢田の皆さんは我々を温かく迎えていただき、自分の住んでいる地域に誇りをもって大変な熱意をもって私達に熱く語りかけていただきました。

午前中は、まず、部落解放同盟矢田支部の小野氏から、矢田地区の歴史や現在進行中の差別解消に向けての街づくり運動について説明をいただきました。このなかでも特に感じることは、地域の人々が「私には困ったときに相談できる場所がある」、「相談できる人がいる」と信じ、それを誇りに感じていることが、我々にも良く伝わってきました。

矢田人権協会の岸本氏は、先の夢幻太鼓の代表もされておられまして、草津へも何回も演奏にこられた

とのことや、矢田地区は昔、皮革のなめしを行って、それを材料とした製品の太鼓を神社等に納めているが、では、その太鼓の打手もあってもいいだろう。それをやってみようというのが、夢幻太鼓の始まりということでした。



午後は矢田地区の施設を見学させていただきました。どちらでも、我々を快く迎えていただき、感激しました。特に「ふれあい共生会」が運営されています。施設は、高齢者や障害者のための総合福祉施設で、障害者会館、在宅サービスステーション、特養の高齢デイサービスの各施設では、施設の間でそれぞれが互いに助け合い、より有効で、より経済的になるようにと苦心されている様子を伺い、ここでも感心しました。

また、市社協の指導員の方々より、手を使いながらのゲームや歌など指導していただき、草津迷術会の皆様からは、マジックショーを楽しませていただき、心のこりをほぐしていただいたように思います。

ボランテニア 交流会の開催

ボランテニア連絡協議会
藤井 清忠

現在、山田学区では4つのボランテニアグループ(たんばぼ・なごみの会・ともしび・五三〇の会)があり、一年を通してそれぞれの活動を行っております。年度末の3月24日山田公民館で、約60名の会員が集い、

情報の交換やボランテニアとしての悩み、困っていることなどを互いに話し合



い、よりボランテニア間の交流を深めることができました。

午前中には、滋賀県地球温暖化防止推進員の井上様、佐藤様より「家庭で、みんなで楽しくやろうー地球温暖化防止」をテーマに講演をいただきました。

地球で起こっている温暖化はどうして起こるのか？また、私達にできることはないのだろうか？などの話をうかがいました。そして”エコドライブ10”のすすめや、食生活の面からも食の安全性や食糧の自給率を高めること、地産地消のすすめなど、身の回りで楽しむながら省エネしていくことの大切さをうかがいました。

それぞれのボランテニア活動の中で、生かしていければと思います。

最後に、山田学区社協・ボランテニア連絡協議会の役員を始め、お手伝いをいただきました皆様に心よりお礼申しあげます。

個別援助 友愛訪問

昨年の年末に各町福祉委員・学区民生児童委員さんの協力を得て、学区内にお住まいのお一人暮らしの方(65歳以上、90歳をむかえられた方(卒寿)、在宅で介護を続けられている方)のお宅を訪問させていただきました。

高齢者社会の現在、住みなれた地域で安心して暮らせるために、お互いのつながりを大切に、小さな声かけが幸せの大きな輪となつて広がっていくよう、これから小地域ネットワーク活動を進めていきたいと思ひます。

編集後記

空たかく、想像もつかないはるかかなたの宇宙ステーションで宇宙飛行士の若田さんが、無重力の中でいろいろな実験をしながら生活をしているという。日本の子どもたちと衛星回線を使っての交信を見ていると、不思議な感覚におそわれた。子どもたちが大人へと成長した時、いやもつと早くに宇宙旅行が、いとも簡単に体験できるのかもしれないね。